



佐久市立望月小学校
学校だより



令和4年(2022年)

12月16日(金)

(担当：校長)

読書旬間

5日(月)から16日(金)まで読書旬間を行いました。ねらいは「子どもたちが読書への関心を高め、自分に合った本を見つけ、読書の楽しさを味わうことができる」でした。

活動としては、朝の一斉読書、図書委員や低学年、先生方による読み聞かせ、読書すごろくなどを行いました。また、保護者の皆様にはPTAの読み聞かせや家族読書などにご協力いただきました。

ありがとうございました。



読み聞かせをする5年生

カメラ担当の6年生



読み聞かせの練習をする4年生

見守り、指導する6年生

上の写真は、お昼休みに4年生の図書委員が読み聞かせの練習をしている場面で、その読み聞かせを聞いて6年生が指導をしています。

左の写真は放送室で5年生図書委員が読み聞かせをしている場面で、放送委員の6年生がカメラを担当しています。

このように子どもたちは、ねらい達成のために努力したり、関わり合ったりしてきました。

そんな子どもたちの日記を紹介します。

「読み聞かせ」

今日、読み聞かせが朝の時間にありました。今日は5年生の読み聞かせでした。5年生に**前に、改善点や準備などを伝えたいしましたが、言ったことをちゃんと直して、とてもいい放送だった**と思います。

次は4年生。正直4年生は少し不安なところもありますが、**堂々と自信をもってほしい**です。(6年さん)

→ 先輩としてアドバイスすることができるかな？不安と期待をもって5年生の放送を聞いていたことが伝わってきます。そして「いい放送だった」と安堵しながらも、次の4年生の発表についても気にかけているところがいいですね。

「読み聞かせ」

今日、1年生に読み聞かせをしてもらいました。1人目の人は**がんばって1字1字読んでいて、聞いていると何だかほっこり**しました。でも、**最後までしっかり読んでいて、ストーリーもちゃんとわかりました**。

2人目の人は、「**もう2、3年生か？!**」と思うほどスラスラ読んでいました。**聞くと、家でたくさん練習をしていたそうです。その努力に「1年生なのに…」ととても感動**しました。(6年さん)

→ 1年生が頑張っている様子や上手に読んでいることに驚き、その陰にある努力に目を向けているところがいいですね。また、その読み聞かせに「ほっこり」しているところに優しさや温かさを感じます。

今日は読書旬間に読んだ「まさかさかさま動物回文集」の感想を書きます。この本のおもしろいところは、「よく意味がわからず逆からも読める」です。理由は、**意味がわからないと「どうしてだろう？」と考えられるから**です。

例えば「わるいにわとりとわにわにわ(悪いニワトリとワニにわにわ)です。こんな上から読んで下から読んで読める文がいっぱいあり、あきないからです。とてもおもしろい文があり、とても良いです。

読書旬間は自分が知らない新しい本に出会え、本の心が広がっていくようでとてもいい提案だと思います。**私も本の心をどんどん広げていきたい**です。(5年さん)

→ わからないことに対して「どうしてだろう？」と考えるおもしろさを感じているところがいいですね。また、本との出会いによって「本の心が広がっていく・・・」と感じているところも good です。

長野県読書感想文コンクール【金賞】作品の紹介

「ゴリラに教わったこと」

ぼくは「ゴリラのきずな」を読み終わって、今すぐモモタロウファミリーに会いに行きたくなりました。そして、妹ともっと仲良く遊べるコツを見つけたいです。見に行くときは家族みんなで行きたいです。「うちと同じだね。」とか「ゴリラみたいにやさしくしよう。」とかみんなでお話しながら見たいからです。

ぼくはこの本を読んだことで、ゴリラのことをとてもたくさん知ることができたとし、ゴリラのやさしさや家族を思いやる気持ちを見習いたいと思うこともできました。ゴリラに負けない人間になりたいです。

ぼくがこの本を読もうと思ったのは、動物が好きだからです。今までも水族館や動物園にたくさん連れて行ってもらって、動物を見たりえさをやったりしました。その時に「今（動物は）何を考えているのかな。」「きっこう思っているんじゃない。」と想像するのが好きです。ニホンザルやチンパンジーも見たことがあったので、「ゴリラも同じだろうな」と思っていたけど、性格が全くちがうことをこの本で知りました。チンパンジーは気になったことにすぐ手を出すけど、ゴリラはじっくり見て考えて、様子がわかってからさわるそうです。ぼくはチンパンジーと同じだからよくお母さんに怒られるので、ゴリラのようにちゃんと確認してから行動するようにしたいと思いました。

ゴリラを見習いたいところは他にもあります。ぼくは、妹がぼくのまねをすると怒ってしまいます。でも、子どものゴリラは大人のゴリラをよく見てまねをして、色々なことを覚えていくんだと知りました。きっと妹も同じなのかもしれません。だから、これからはまねをされても怒らないようにがんばります。あと、妹とゲームをするとき「自分が勝ちたい」としか思わないで、いつも本気でやっていました。でも、ゴリラは遊びが長く続くように手加減して遊んであげているそうです。ぼくも妹と楽しく遊べるように、これからは「自分が勝ちたい」だけじゃなくて、2人ともが楽しく遊べるように考えてやってみたいです。

ぼくだけでなく、ぼくのお父さんもモモタロウをよく見てほしいです。お父さんは遊んでいるときにぼくの足が当たったりぶつかったりするとすぐに怒ります。でも、モモタロウは痛かったことがあっても、怒らずに遊びの相手をしてくれるそうです。お父さんにもまずこの本を読んでほしいです。

このようにぼくは「ゴリラのきずな」を読んでゴリラのことをたくさん知り、自分に足りないことにも気がつきました。でも、実際に自分で見に行き、もっともっと色々なことを教えてほしいと思いました。そして、モモタロウファミリーに負けないきずながある家族になっていきたいです。
(3年さん)

→ 読んで学んだことから自分の行動を振り返り、「・・・やってみたい」と考えたところがいいですね。また自分だけでなく「きずながある家族になっていきたい」と家族を思う気持ちも伝わってきます。

銀賞：4年さん 入選：2年さん 4年さん

おめでとうございます

今年の漢字④

優	人に優しくできたから。(2年)
木	雪が降る時期は、木がほとんど枯れるので、「春」などにちゃんと育つようにしたいからです。(2年)
学	いろいろなことを覚えたいから。(2年)
二	2人で助け合ったり、けんかしたり、2人でいろいろなことをする。(2年)
教	いろいろなことを先生やお友だちに教えてもらったからです。(2年)
強	強い心をもてたと思います。(2年)
試	4年になって新しい勉強をしたり、新しいことを試みたりしたから、この漢字にしました。(4年)
歴	歴史に興味があった年だから。(5年)
康	健康に過ごせた年だったから。康晟の康という理由もあります。(6年)
理	「ことわり」「おさまる」 物事の背景などを知るうちに「なるほど」と理解でき、事実と事実のつながりを知ることができるようになった気がするから。

